

若者応援！
奨学金返還のお手伝いを
します！！

募
集
中

支援額最大
124.8万円！！

申請年次が早いほど
支援額は増加します

募集期間

R8.5.18(月)~6.30(火)

支援金額

2万6千円×令和8年4月以降に
奨学金の貸与を受けた月数

① 在学中に
応募・認定



② 卒業後に
県内で居住・就業



③ 3年後に
返還支援

支援後も②を更に2年継続する必要があります

【お問い合わせはこちらまで】
山形県産業労働部産業創造振興課
TEL 023-630-2691
(平日8:30~17:15)

事業HP



卒業後に住む
予定の市町村
が申請窓口
になります。

申請窓口





令和8年度新やまがた就職促進奨学金返還支援事業 【やまがた若者定着枠】概要




1 募集対象者

次の(1)から(4)までの要件全てに該当することを応募資格としています。

(1) 次のA、Bのいずれかに該当する方

- A 山形県内に居住しながら県内の高校等を卒業(※)し、次の種類の学校(大学等)に在学中の方
- イ 大学院(修士課程及び博士課程) ロ 大学
 - ハ 高等専門学校(第4、5学年及び専攻科に限る)
 - ニ 短期大学 ホ 専修学校専門課程
 - ヘ 山形県立産業技術短期大学校、同庄内校、山形県立職業能力開発専門学校
- (※) 県内の中学校等を卒業し、県外の高校等を卒業した方等を含む

B 県内に所在する大学等に在学している方(県外の高校等を卒業した方を含む)

- (2) 将来定住を希望する市町村が対象とする奨学金の貸与を受けている方又は今年度中に受ける予定の方 ※市町村ごとの対象奨学金は右のQRコードから確認できます。⇒ 
- (3) 大学等を卒業後13か月以内に山形県内に居住かつ就業し、その後5年以上継続する見込みの方
- (4) 県内企業等へ就業又は県内で創業を希望する方
(公務員として就業する方、指定職種の修学資金貸付を利用中(予定含む)の方は支援対象外)

2 助成金額

2万6千円×令和8年4月以降に奨学金の貸与を受けた月数 (上限: 奨学金の返還残額)

(例) 4年制大学の方で1年次に認定を受けた場合 26,000円×48か月=1,248,000円が支援額の上限

※応募した市町村と実際に居住した市町村が異なる場合は、助成金額が1/2に減額となります。

3 応募方法

次の書類を募集期間内までに、大学等を卒業後に居住を希望する市町村へ提出してください。
様式等は、山形県や市町村のホームページでダウンロードできます。電子申請システムによる提出に対応している市町村は、同システムでの提出も可能です

- イ 新やまがた就職促進奨学金返還支援事業【やまがた若者定着枠】助成候補者認定申請書(様式1)
- ロ 【県外大学等の在学者のみ】高校等の卒業証明書(写し可)又は卒業証書の写し又は中学校等の卒業証明書(写し可)又は卒業証書の写し
- ハ 大学等の在学証明書(写し可)又は学生証の写し
- ニ 奨学生証の写し又は奨学金貸与証明書の写し(奨学金の貸与を受けている方)

※ 応募者多数の場合、市町村ごとに選考を行います。上記のほかに選考に必要な書類の提出を求める場合がありますので、各市町村の指示に従ってください。

4 助成候補者の認定

令和8年9月までに申請書を提出した市町村から文書で認定結果を通知します。

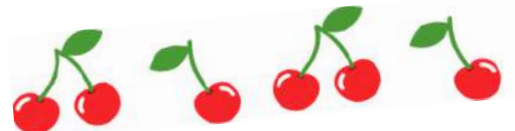
5 助成方法

助成候補者に認定された方が、大学等を卒業後、13か月以内に山形県内に居住かつ県内で通算3年以上就業した場合に助成を行います。

(返還支援後さらに2年間、県内居住・就業を継続する必要があります。)

助成金は、山形県が奨学金の貸与機関に対して支払います。本人にはお支払いしません。

事業の詳細は募集要項に記載しています。
応募の際は必ずホームページから内容をご確認ください。





《校章》

ささりんどう

源氏の流れをくむ清水氏の紋章をあらわしたものであり、由緒あるものです。

大蔵小だより

学校通信 NO. 3 令和8年5月27日 大蔵村立大蔵小学校

伝説に残る103人 - 2色でつくる頂上決戦 -

5月23日(土)大蔵小学校春季大運動会が行われました。徒競走をはじめとし、各競技ではこれまで練習に取り組んできた成果を見事に発揮し、ねばり強く取り組む姿勢が見られました。応援合戦では、赤白2色に分かれて、両軍とも気迫あふれる応援でした。今年は、白組優勝、赤組準優勝という結果でした。応援合戦は同点という結果でした。全力で取り組んだからこそ、うれしい涙、くやしい涙が流れるのだと思います。子ども達はこの運動会を通してたくさんのことを学びました。当日はたくさんの方々にお越しいただきました。来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様、温かいご声援ありがとうございました。



花いっぱい運動

5月14日(木)小学校の環境整備委員会と中学校のJRC委員会が中心になり、4~6年生59人と中学校の全生徒が花植えをしました。人権擁護委員の方々にも一緒に植えていただきました。人権擁護委員の矢口真二郎さんからは「花を大切にすると同じように、人を気遣う思いやりの心を大切にしたい。」という話がありました。プランターは小中学校の昇降口にあります。



大蔵小学校後援会理事会

5月14日(木)大蔵小学校後援会理事の皆様にお集まりいただき、理事会が行われました。令和8年度の事業計画と予算案等について承認いただきました。今年度の役員は以下のとおりです。

- 会長 大友 久士 様
- 副会長 門脇美知男 様
- 副会長 土屋 徹 様
- 監事 佐藤 勝 様
- 監事 中島 信一 様

理事の皆様をはじめとして地域の皆様には、小学校の教育活動を温かく支えていただき、改めて感謝申し上げます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。